

# 平成 22 年度決算資料

---

平成 23 年 7 月  
安芸市税務課



## 1. 市税等決算状況

(単位:円、%)

税目	予算額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率		
						H22	H21	
市民税	679,000,000	716,469,233	683,780,900	1,328,829	31,359,504	95.44	95.05	
個人	567,000,000	601,422,506	570,144,672	1,328,829	29,949,005	94.80	94.42	
	現年	560,000,000	570,318,632	563,837,186	0	6,481,446	98.86	98.22
	滞繰	7,000,000	31,103,874	6,307,486	1,328,829	23,467,559	20.28	23.78
法人	112,000,000	115,046,727	113,636,228	0	1,410,499	98.77	98.53	
	現年	111,800,000	113,505,400	113,116,039	0	389,361	99.66	99.32
	滞繰	200,000	1,541,327	520,189	0	1,021,138	33.75	41.85
固定資産税	925,400,000	990,859,872	927,820,792	1,289,377	61,749,703	93.64	93.64	
純固定	910,600,000	976,038,672	912,999,592	1,289,377	61,749,703	93.54	93.55	
	現年	895,600,000	915,669,100	898,176,392	6	17,492,702	98.09	98.05
	滞繰	15,000,000	60,369,572	14,823,200	1,289,371	44,257,001	24.55	28.98
交付金	14,800,000	14,821,200	14,821,200	0	0	100.00	100.00	
	現年	14,800,000	14,821,200	14,821,200	0	0	100.00	100.00
軽自動車税	54,600,000	61,311,197	55,214,455	394,011	5,702,731	90.06	88.96	
	現年	53,400,000	55,325,300	53,953,098	0	1,372,202	97.52	97.14
	滞繰	1,200,000	5,985,897	1,261,357	394,011	4,330,529	21.07	17.56
たばこ税	140,184,000	140,934,320	140,934,320	0	0	100.00	100.00	
現年	140,184,000	140,934,320	140,934,320	0	0	100.00	100.00	
一般会計	1,799,184,000	1,909,574,622	1,807,750,467	3,012,217	98,811,938	94.67	94.49	
計	現年	1,775,784,000	1,810,573,952	1,784,838,235	6	25,735,711	98.58	98.32
	滞繰	23,400,000	99,000,670	22,912,232	3,012,211	73,076,227	23.14	26.91
国民健康保険税	716,020,000	855,061,560	672,932,718	8,094,917	174,033,925	78.70	78.25	
計	現年	677,790,000	677,835,850	635,254,797	7,100	42,573,953	93.72	93.62
	医一	448,494,000	443,447,039	415,095,084	4,800	28,347,155	93.61	93.65
	介一	62,500,000	60,648,452	56,056,453	1,100	4,590,899	92.43	92.56
	支一	129,596,000	125,602,881	117,694,708	1,200	7,906,973	93.70	93.91
	医退	25,000,000	30,919,911	29,802,883	0	1,117,028	96.39	93.90
	介退	5,900,000	8,278,148	7,991,414	0	286,734	96.54	94.02
	支退	6,300,000	8,939,419	8,614,255	0	325,164	96.36	93.90
	滞繰	38,230,000	177,225,710	37,677,921	8,087,817	131,459,972	21.26	20.64
	医一	31,000,000	143,075,211	28,638,407	6,937,755	107,499,049	20.02	19.39
	介一	3,300,000	15,484,352	3,079,987	670,422	11,733,943	19.89	20.72
	支一	2,560,000	11,344,966	3,697,449	45,790	7,601,727	32.59	36.92
	医退	1,200,000	6,087,967	1,761,852	430,793	3,895,322	28.94	30.05
	介退	100,000	686,240	287,581	3,057	395,602	41.91	39.48
	支退	70,000	546,974	212,645	0	334,329	38.88	53.12
市税等合計	2,515,204,000	2,764,636,182	2,480,683,185	11,107,134	272,845,863	89.73	89.51	
現年	2,453,574,000	2,488,409,802	2,420,093,032	7,106	68,309,664	97.25	97.05	
滞繰	61,630,000	276,226,380	60,590,153	11,100,028	204,536,199	21.93	22.93	

固定資産税/交付金:国有資産等所在市町村交付金 たばこ税:市町村たばこ税

## 2. 市税以外の税金からの収入状況

(単位:円)

科目	決算額	前年比	説明
自動車重量譲与税	81,215,000	▲3,798,000	自動車重量税の1/3が市区町村に譲与される。H21税制改正(道路特定財源の一般財源化)により使途制限は廃止。
地方揮発油譲与税	33,872,000	0	H21税制改正(道路特定財源の一般財源化)により地方揮発油譲与税に名称変更されるとともに、使途制限は廃止。
地方道路譲与税	82	▲12,874,813	
利子割交付金	9,102,000	1,071,000	利子課税(20%)の15%が交付される。
配当割交付金	2,700,000	609,000	配当課税のうち5%(H16.1.1～H23.12.31は3%)が都道府県税として徴収され、その一部が個人県民税の収入率の割合で交付される。
株式等譲渡所得割交付金	942,000	▲58,000	株式等譲渡所得課税のうち5%(H16.1.1～H23.12.31は3%)が都道府県税として徴収され、その一部が個人県民税の収入率の割合で交付される。
地方消費税交付金	168,269,000	▲290,000	消費税は国分4%と併せて地方分1%が徴収されており、地方分の1/2が都道府県に、残りの1/2が人口と従業者数の割合で交付される。
自動車取得税交付金	21,662,000	▲1,074,000	自動車取得税(3～5%都道府県税)の65.5%を市道の延長や面積に応じて交付。H21税制改正(道路特定財源の一般財源化)により使途制限は廃止。

## 3. 歳出その他

(単位:円)

		H20	H21	H22	備考
税収	A	3,039,163,992	2,892,406,987	2,855,738,344	
市税		1,930,537,926	1,847,468,121	1,807,750,467	
個人県民税	B	410,668,510	368,295,581	375,055,159	
国保税		697,957,556	676,643,285	672,932,718	
賦課徴収費	C	130,352,650	116,593,212	118,879,561	
人件費		90,269,212	87,347,606	76,419,262	
基本給		51,239,941	50,113,237	43,762,035	
諸手当		27,035,309	24,807,135	21,078,680	
超過勤務手当		4,444,104	4,113,773	3,626,859	
期末勤勉手当		19,648,025	17,750,602	14,905,521	
その他手当		2,943,180	2,942,760	2,546,300	
その他		11,993,962	12,427,234	11,578,547	
共済費		11,993,962	12,427,234	11,578,547	
物件費		16,900,280	13,742,019	23,199,447	
旅費		52,000	161,040	49,760	
需用費		5,366,887	5,183,563	6,239,249	
役務費		5,056,737	5,052,047	5,666,733	
委託料		5,629,606	3,037,219	10,573,725	主に・国税連携業務システム導入 2,153,550 +H24土地評価替業務委託 7,567,350
使用料		311,700	308,150	303,700	
その他		483,350	0	366,280	重量税、プリンター、ファイリングキャビネット2台、住宅地図
補助費等		437,356	498,909	708,782	
貸付金		200,000	200,000	202,000	
歳出還付金		22,545,802	14,804,678	6,771,523	
県税取扱費	D	43,411,986	29,124,107	28,496,520	
賦課徴収費(市税分)	E=C-D	86,940,664	87,469,105	90,383,041	
税収費	C/A	4.29%	4.03%	4.16%	
	E/(A-B)	3.31%	3.47%	3.64%	
税務職員数		18	18	16	

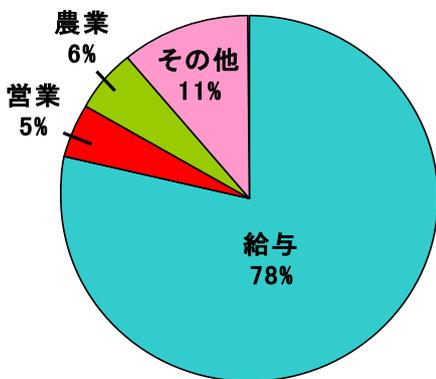
#### 4. 課税状況

##### (1) 個人市民税

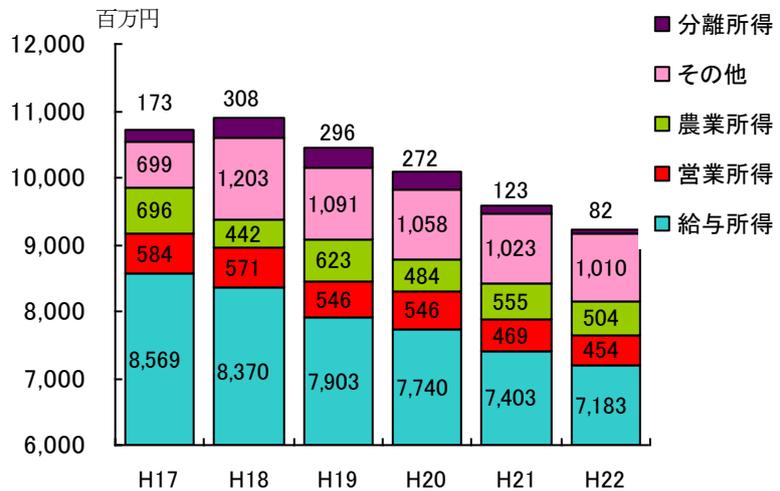
##### 総所得の状況

区分	課税標準額(百万円)			所得割納税義務者(人)		
	H21	H22	増減	H21	H22	増減
給与所得	7,403	<b>7,183</b>	△ 220	5,221	<b>5,128</b>	△ 93
営業所得	469	<b>454</b>	△ 15	352	<b>323</b>	△ 29
農業所得	555	<b>504</b>	△ 51	429	<b>419</b>	△ 10
その他	1,023	<b>1,010</b>	△ 13	1,146	<b>1,209</b>	63
分離所得	123	<b>82</b>	△ 41	31	<b>23</b>	△ 8
計	9,573	<b>9,233</b>	△ 340	7,179	<b>7,102</b>	△ 77

課税標準額の所得別割合



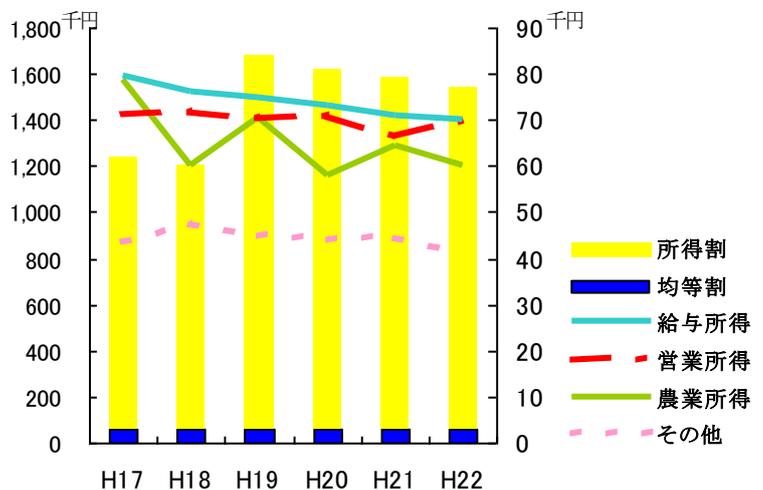
課税標準額の推移



所得別課税標準と税額の推移

(納税者一人当たり)

市民の総所得の78%を占める給与所得については納税義務者数、課税標準額ともに減少が見られる。退職による高所得者層の減少や長引く景気の低迷によるものが大きい。昨年度、わずかに回復していた農業所得も減っており、全体的に所得は減少傾向にあり景気回復の兆候は見られない。



## 課税の状況

区分	課税金額(千円)			納税義務者(人)			
	H21	H22	増減	H21	H22	増減	
現年度分	決定年税額	578,916	557,815	△ 21,101	8,471	8,400	△ 71
	内訳 均等割	25,413	25,200	△ 213	1,317	1,266	△ 51
	所得割	553,503	532,615	△ 20,888	7,154	7,134	△ 20
過年度分	決定年税額	4,598	1,942	△ 2,656	203	67	△ 136
	内訳 均等割	152	33	△ 119	25	2	△ 23
	所得割	4,446	1,909	△ 2,537	178	65	△ 113
<b>合計</b>		<b>583,514</b>	<b>559,757</b>	<b>△ 23,757</b>	<b>8,674</b>	<b>8,467</b>	<b>△ 207</b>
会計年度調整(特別徴収4・5月分)		2,652	2,764	112			
分離課税分(退職所得)		7,276	7,797	521			
<b>調定現額</b>		<b>593,442</b>	<b>570,318</b>	<b>△ 23,124</b>	<b>8,674</b>	<b>8,467</b>	<b>△ 207</b>

## 給与特別徴収の状況

本年度の課税金額は決算調定額ベースで納税義務者数52人の減、課税標準額、所得額とも昨年に引き続き減少傾向である。特別徴収義務者数は横ばい。徴収税額は昨年度に比べ、約880万円の減でピーク時の平成19年度に比べると約4,700万円の減となっている。

年度	特徴義務者数(人)	納税義務者数(人)	特別徴収税額(千円)
H16	699	3,689	279,866
H17	915	4,066	299,273
H18	1,034	4,566	329,648
H19	1,057	4,547	435,119
H20	1,070	4,512	415,311
H21	1,068	4,529	396,937
<b>H22</b>	<b>1,070</b>	<b>4,477</b>	<b>388,137</b>

## (2) 法人市民税

法人	資本金	従業員	法人数(人)			均等割額(千円)			法人税割額(千円)		
			H21	H22	増減	H21	H22	増減	H21	H22	増減
1号	1千万円以下	50人以下	252	242	△ 10	15,700	15,000	△ 700	12,216	11,647	△ 569
2号	1千万円以下	50人超	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3号	1億~1千万円	50人以下	70	68	△ 2	10,632	10,712	80	5,232	7,133	1,901
4号	1億~1千万円	50人超	6	6	0	900	1,080	180	1,084	1,161	77
5号	10億~1億円	50人以下	15	16	1	3,044	2,796	△ 248	14,210	9,705	△ 4,505
6号	10億~1億円	50人超	1	1	0	480	480	0	1,630	872	△ 758
7号	10億円超	50人以下	29	30	1	11,972	14,555	2,583	26,476	23,270	△ 3,206
8号	50億~10億円	50人超	1	1	0	2,100	2,100	0	2,547	1,549	△ 998
9号	50億円超	50人超	3	1	△ 2	3,600	5,400	1,800	250	6,045	5,795
<b>計</b>			<b>377</b>	<b>365</b>	<b>△ 12</b>	<b>48,428</b>	<b>52,123</b>	<b>3,695</b>	<b>63,645</b>	<b>61,382</b>	<b>△ 2,263</b>

### 均等割額+法人税割額(千円)

H21	H22	増減
112,073	<b>113,505</b>	1,432

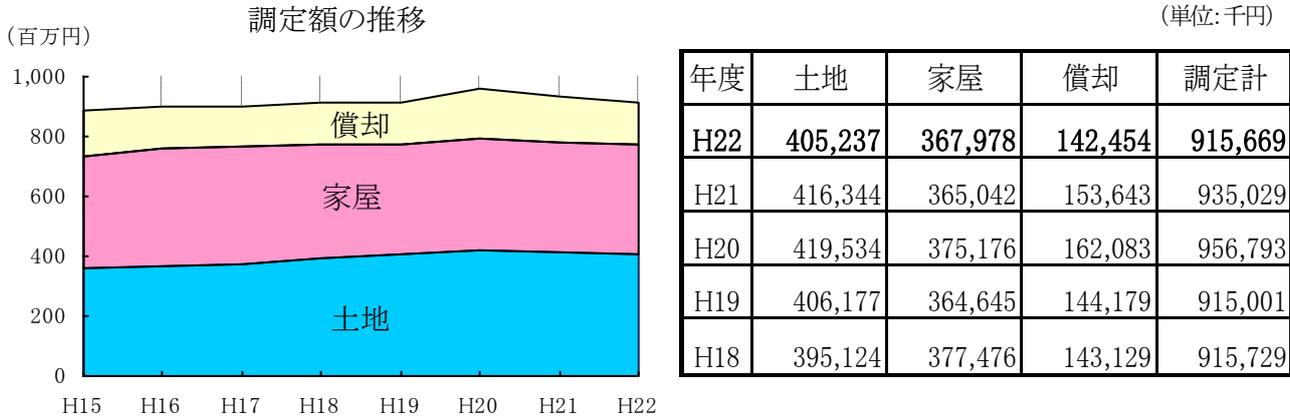
法人割は建設業・製造業・サービス業などで増加したものの、電気・ガス・水道業と金融保険業の落ち込みが激しく、全体では昨年に引き続き減となっている。均等割額を合わせた合計では微増。

## H22法人市民税の超過税率分

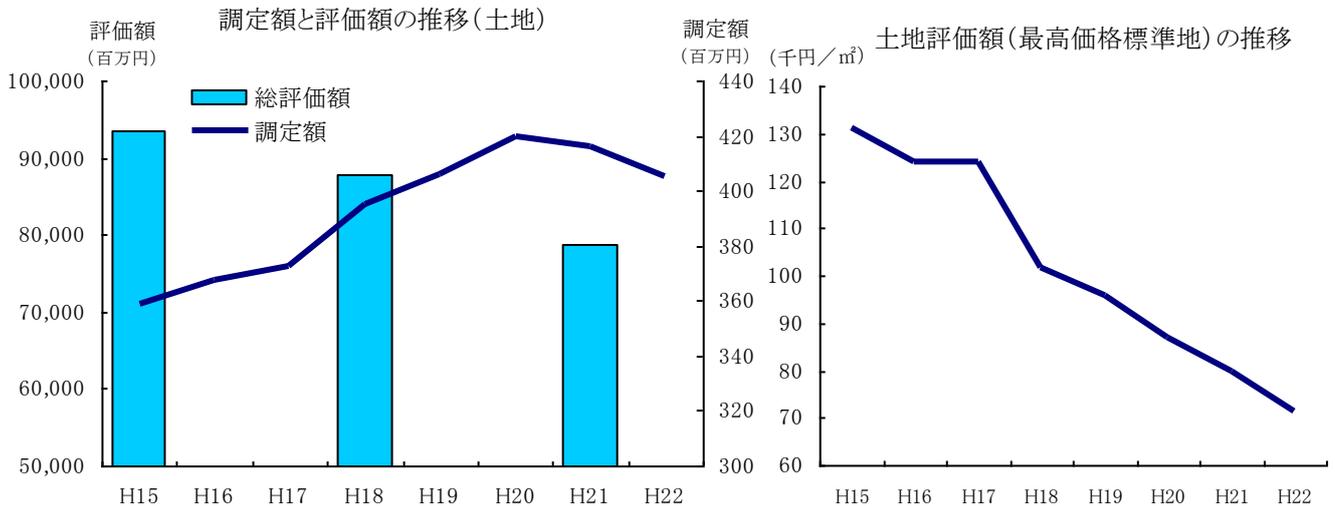
均等割額(千円)			法人税割額(千円)		
超過税率分(標準×1.2)	標準分	超過分	超過税率分	標準分	超過分
52,123	43,436	8,687	61,382	51,361	10,021

### (3) 固定資産税

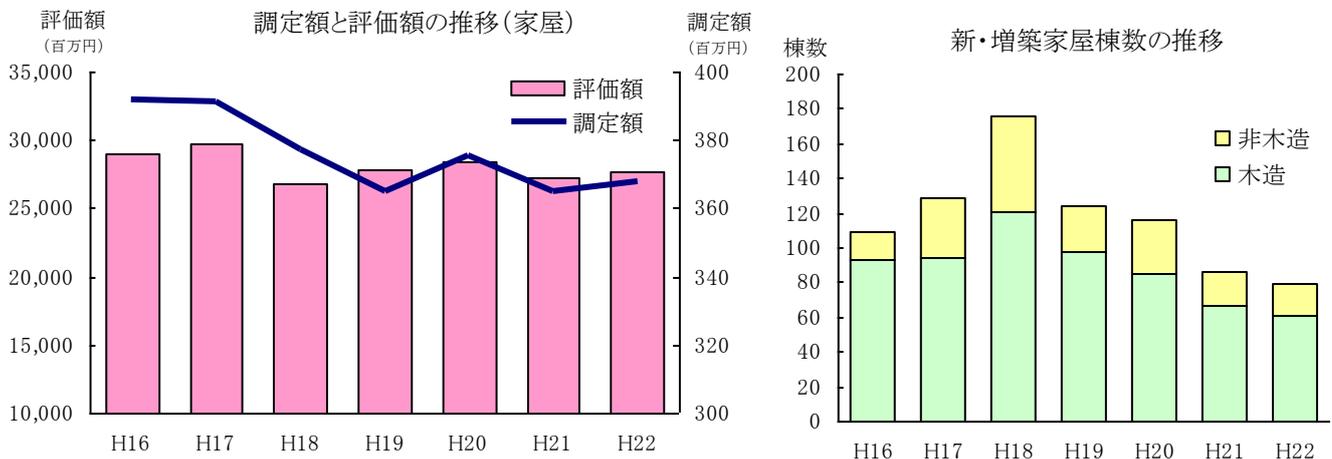
本年度は、地価下落に伴う土地評価額の下落修正を行った結果、土地の調定額がH21と比較して1,100万円の減となっている。また、家屋は290万円の増、償却資産は1,100万円の減となっている。調定額全体としては、1,900万円の減となっている。



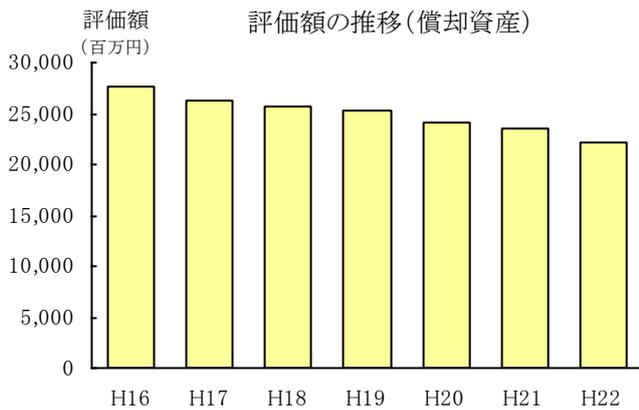
①土地・・・H21からは、負担調整が一定水準に達したため、評価額の下落に伴い、課税額も減少している。



②家屋・・・今年度の新增築棟数は、引き続き減少傾向となっている。未評価家屋対策として、地区別の現地調査の実施、また新築家屋評価時に既存家屋の再確認を行っている。



③償却資産・・・新たな設備投資は少なく、課税額の下降が続いている。



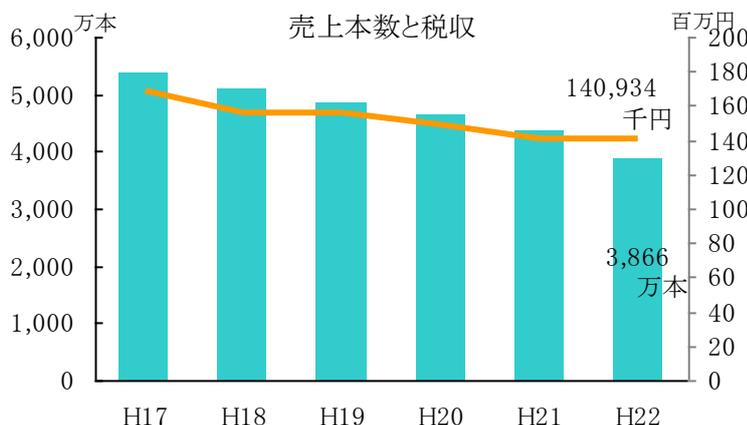
(4) 軽自動車税

エコカー減税等の影響で、全国的に自動車の登録台数が増加しているなか、購入価格・維持費ともに経済的な軽4乗用(自)が大きく増加している。

※過年度分含む

区 分	税 額	課税台数(台)			課税金額(千円)		
		H21	H22	増減	H21	H22	増減
原付50cc	1,000	2,287	2,247	△ 40	2,287	2,247	△ 40
原付90cc	1,200	318	300	△ 18	382	360	△ 22
原付125cc	1,600	93	114	21	149	182	33
ミニカー	2,500	13	11	△ 2	33	28	△ 5
軽2輪	2,400	213	213	0	511	511	0
三輪車	3,100	1	1	0	3	3	0
軽4乗用(営)	5,500	0	0	0	0	0	0
軽4乗用(自)	7,200	4,288	4,436	148	30,874	31,939	1,065
軽4貨物(営)	3,000	41	43	2	123	129	6
軽4貨物(自)	4,000	4,265	4,214	△ 51	17,060	16,856	△ 204
農耕	1,600	1,198	1,184	△ 14	1,917	1,894	△ 23
特殊	4,700	45	45	0	212	212	0
自動2輪	4,000	235	241	6	940	964	24
計		12,997	13,049	52	54,491	55,325	834

(5) 市町村たばこ税



健康志向の高まり、たばこの小売価格の値上げ(平成22年10月～)により販売本数は前年度より約12%減少。税収はたばこ税率引き上げにより横ばい。

## (6) 国民健康保険税

## 税率

	所得割		資産割		均等割		平等割		課税限度額	
	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22	H21	H22
医療分	7.0%	<b>7.0%</b>	35.0%	<b>35.0%</b>	21,500 円	<b>21,500 円</b>	26,500 円	<b>26,500 円</b>	47万円	<b>50万円</b>
支援金分	2.0%	<b>2.3%</b>	10.0%	<b>10.0%</b>	5,000 円	<b>5,800 円</b>	4,500 円	<b>5,600 円</b>	12万円	<b>13万円</b>
介護分	1.6%	<b>1.9%</b>	7.0%	<b>7.0%</b>	6,800 円	<b>7,600 円</b>	4,400 円	<b>5,200 円</b>	10万円	<b>10万円</b>

## 課税金額及び世帯数

区分			課税金額 (千円)					
			H21	(世帯数)	H22	(世帯数)	増減	(世帯数)
医療	現年分	課税年税額	487,875	(4,605)	<b>471,602</b>	(4,555)	<b>△ 16,273</b>	(△ 50)
		内訳						
		一般	460,841	(4,406)	440,783	(4,320)	△ 20,058	(△ 86)
		退職	27,034	(199)	30,819	(235)	3,785	(36)
		過年度分年税額	7,421		<b>2,765</b>		<b>△ 4,656</b>	
支援金	現年分	課税年税額	123,011	(4,605)	<b>133,893</b>	(4,555)	<b>10,882</b>	(△ 50)
		内訳						
		一般	116,118	(4,406)	124,979	(4,320)	8,861	(△ 86)
		退職	6,893	(199)	8,914	(235)	2,021	(36)
		過年度分年税額	1,084		<b>649</b>		<b>△ 435</b>	
介護	現年分	課税年税額	62,380	(2,841)	<b>68,570</b>	(2,813)	<b>6,190</b>	(△ 28)
		内訳						
		一般	55,943	(2,536)	60,313	(2,486)	4,370	(△ 50)
		退職	6,437	(305)	8,257	(327)	1,820	(22)
		過年度分年税額	857		<b>357</b>		<b>△ 500</b>	
<b>決定年税額の合計</b>			<b>682,628</b>		<b>677,836</b>		<b>△ 4,792</b>	

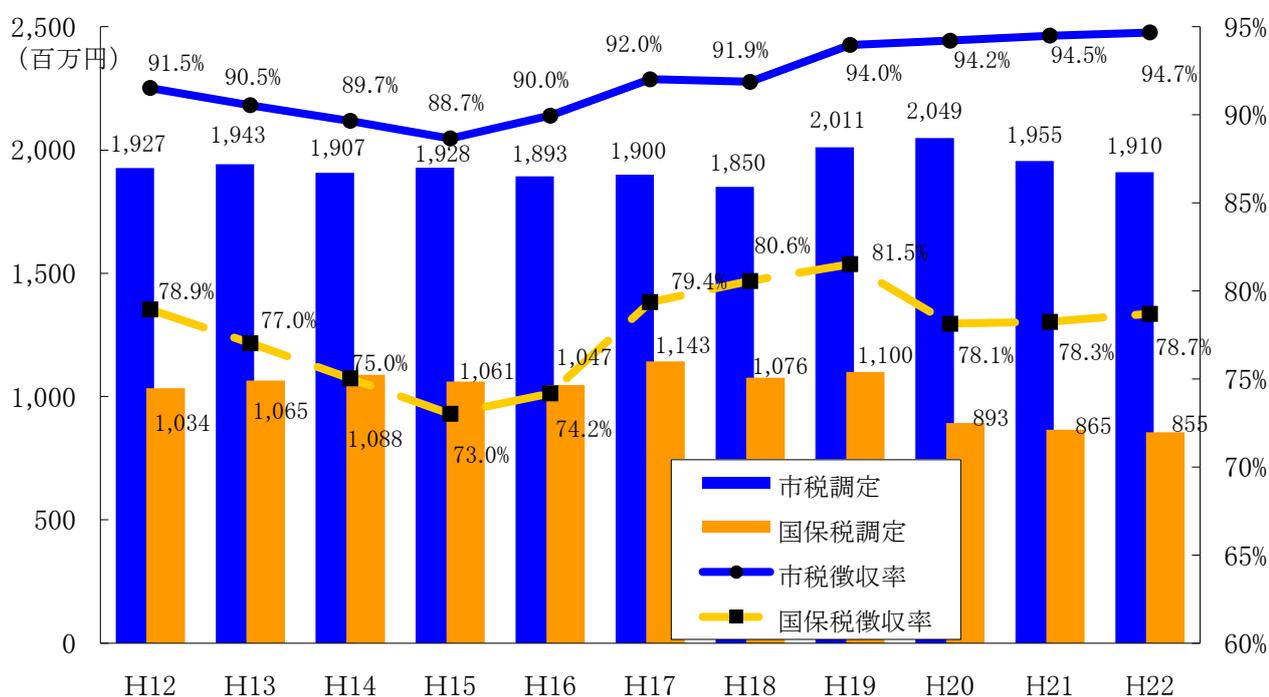
課税限度額のほか、支援金分と介護分の税率等について改正したため、世帯数が減少しているなかでも、支援金分と介護分の課税額は増え、1世帯当たり約 500 円の増税となっている。また、平成 22 年度から倒産・解雇等による離職者に対して、前年の給与所得を 30/100 とする国保税軽減措置を実施している。(対象者 76 人、軽減額約 900 万円)

## 5. 収納状況

昨年と比較すると市税収納率は0.18ポイント増、国保税収納率は0.45ポイント増、現年滞納繰越合計の市税等徴収率は0.22ポイント増で、微増となっている。

(現年滞納繰越合計)

徴収率	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
市 税	91.52%	90.54%	89.65%	88.66%	89.95%	92.02%	91.87%	93.97%	94.21%	94.49%	<b>94.67%</b>
国 保 税	78.94%	77.03%	75.03%	73.02%	74.18%	79.36%	80.57%	81.52%	78.14%	78.25%	<b>78.70%</b>
計	87.13%	85.76%	84.34%	83.11%	84.33%	87.26%	87.72%	89.56%	89.33%	89.51%	<b>89.73%</b>



### 現年滞繰全体の市税収納率、国保税収納率ともに連年の増

不納欠損のおそれがある平成17年度以前からの滞納者と長期滞納者を中心に、財産調査(所内調査以外で預貯金1,464件、給料・年金346件、生命保険952件、自動車639件、不動産その他15件の合計3,416件(前年比1,028件増)を実施し、これに基づき滞納処分を行った。

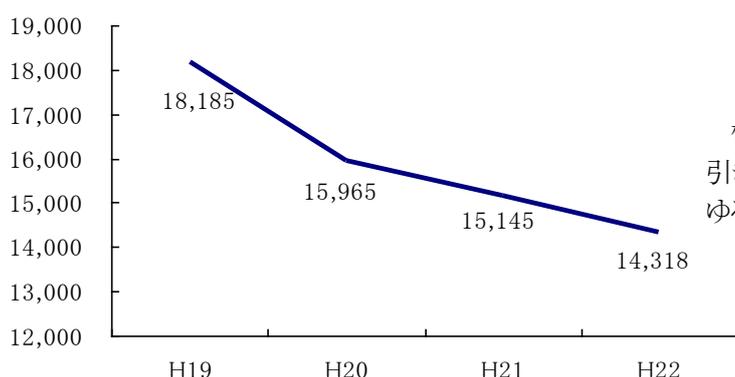
市税収納率の現年度分は98.58%と0.26ポイント増加、滞繰分は23.14%と3.77ポイント減少するも、市税全体の徴収率は94.67%と0.18ポイント上昇した。国保税の現年度分は93.72%と0.10ポイント増加し、滞繰分は21.26%と0.62ポイント増加し、国保税全体の徴収率は78.70%と0.45ポイント増加となった。

(1) 督促

督促件数

(軽自動車税は車両ごとに督促)

税目	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
個人市民税	0	0	496	1	415	0	470	0	2	419	4	11	1,818
〃(特徴)	26	31	43	28	36	34	44	37	39	33	28	22	401
法人市民税	0	0	0	0	2	1	1	3	0	0	3	0	10
軽自動車税	1,785	0	1	0	13	0	0	0	0	0	0	0	1,799
固定資産税	1,086	10	5	989	11	961	6	2	859	12	2	28	3,971
国保税	15	0	7	840	847	848	842	765	763	714	666	12	6,319
計	2,912	41	552	1,858	1,324	1,844	1,363	807	1,663	1,178	703	73	14,318



督促件数は、前年比より827件の減少となっている。引き続き、減少につなげるよう納期内納付に向けあらゆる対策を講じていく。

(2) 滞納処分

① 差押 右表のとおり

搜索を4件、タイヤロックを1件実施した。また、インターネット公売により、不動産1件、動産34点を換価し、滞納金額へ総額2,083,547円充当した。

② 交付要求

(強制換価手続に参加して配当を受けようとする事。)

滞納税額合計4,497,298円にかかる10件を処分した。

(自らの差押への交付要求は除く)

③ 処分の停止

(処分可能財産がないとき等、滞納処分の失効を停止できる。)

滞納者が職権消除されるなど徴収できないことが明らかな場合の即時消滅など57件を停止した。

	H21	H22	増減
預貯金	139	154	15
内市税滞納分	118	127	9
内国保税滞納額	79	87	8
給料・年金	33	64	31
内市税滞納分	32	57	25
内国保税滞納額	18	28	10
生命保険	94	77	-17
内市税滞納分	81	68	-13
内国保税滞納額	54	48	-6
各種還付金	47	16	-31
内市税滞納分	40	13	-27
内国保税滞納額	29	9	-20
不動産	3	8	5
内市税滞納分	3	7	4
内国保税滞納額	3	5	2
出資金	4	7	3
内市税滞納分	4	7	3
内国保税滞納額	3	7	4
動産	0	6	6
内市税滞納分	0	5	5
内国保税滞納額	0	6	6
その他	17	16	-1
内市税滞納分	16	15	-1
内国保税滞納額	10	10	0
合計	337	348	11

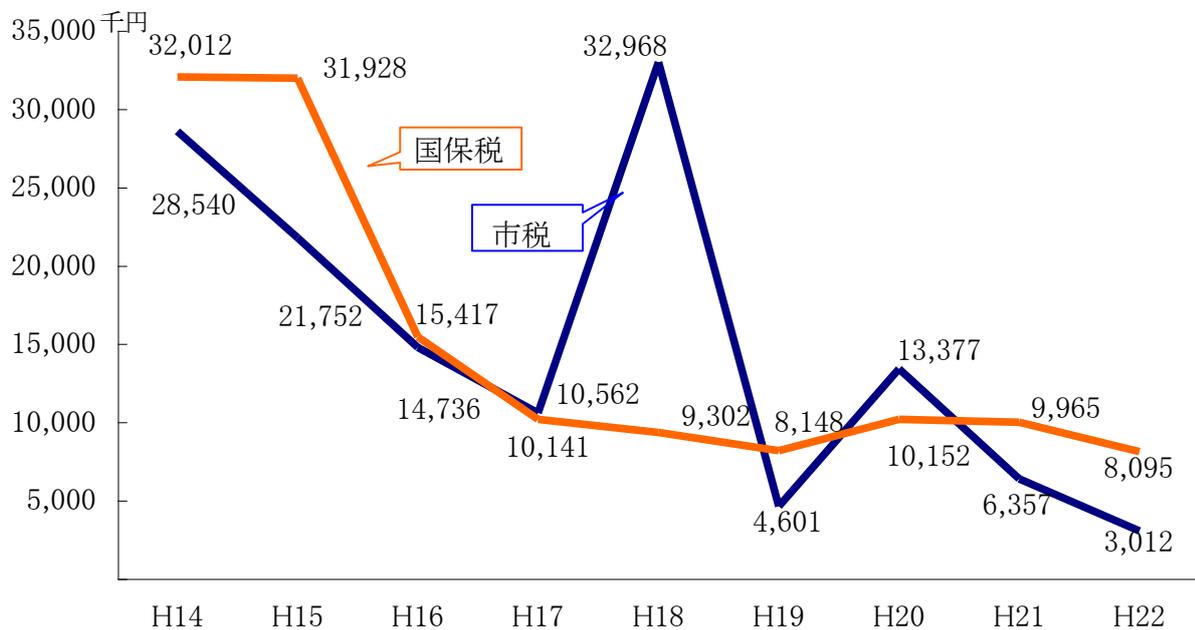
(3) 不納欠損処分

執行停止が3年間連続と徴収権が消滅する(法 15 の7④)、徴収できないことが明らかな場合は即時消滅できる(法 15 の7⑤)、5年間徴収権を行使しないと時効により消滅(地方税法 18①)、これらを表示する決算上の処分を不納欠損という。

(件数は期別にカウントしたもの)

税目	件数	人数	執停後 3年欠損	件数	人数	即時欠損	件数	人数	時効欠損	件数	人数	計(円)	前年度計	比較
個人市民税	6	3	81,291	28	8	187,995	154	60	1,059,543	188	71	1,328,829	2,173,680	-38.9%
法人市民税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123,730	-100.0%
固定資産税	65	19	567,970	4	2	7	144	55	721,400	213	76	1,289,377	3,498,776	-63.1%
軽自動車税	5	5	20,000	0	0	0	128	96	374,011	133	101	394,011	560,877	-29.8%
計	76	27	669,261	32	10	188,002	426	211	2,154,954	534	248	3,012,217	6,357,063	-52.6%
国保税	349	84	1,979,244	80	17	752,400	1,163	376	5,363,273	1,592	477	8,094,917	9,965,135	-18.8%
合計	425	111	2,648,505	112	27	940,402	1,589	587	7,518,227	2,126	725	11,107,134	16,322,198	-32.0%

不納欠損総額、昨年度32.0%減少となり、時効欠損分は前年度11,299,515円に対し33.5%減少する結果となった。これは、①調査件数の大幅な増加が滞納者の財産発見に繋がり、滞納処分件数が増加したこと、②今後とも滞納処分と執行停止の判断を迅速にし、時効完成の欠損の減少に努めていく。



(4) 収入未済額内訳

滞納者数は年々減少傾向にあるが、近年において大幅な減少には至っておらず、前年と比較してもほぼ横ばいである。市税等滞納者数のうち国保税滞納者数の割合は 56%となっており、前年と同数である。財産を発見し次第、滞納処分を早期に着手し、新たに滞納者・累積滞納額を増やさないよう努めており、財産調査を行っても滞納処分可能な財産が発見できず停滞しているものについては、引き続き法に基づく執行停止等を強化していく。

